

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三菱重工業株式会社 三原製作所
(省エネ法第10条関係「第一種エネルギー管理指定工場等」)

(2) 事業所の所在地

広島県 三原市糸崎南一丁目1番1号

(3) 業種

印刷、製本、紙工機械製造業 (2644)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和6年度 (2024)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
エネルギー 起源CO ₂	16,999	618 96.4	9,176 46.0	9,230 45.7	8,969 47.2	7,693 54.7	142 99.2
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	・令和6年(2024年)3月1日から和田沖工場の太陽光発電施設が稼働し、その電力の供給（オフサイト PPA）を受けている分、エネルギー起源CO ₂ が削減された。（電力使用による排出は、ネットゼロ） ・過年度より引き続き、照明のLED化を進め、さらなる省エネを図っているが、一方で猛暑による冷房需要の増 加が課題となっており、熱中症対策を兼ねた工場屋根への遮熱シートの敷設などの対策を検討中。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

購入電力量	21,639	15,989	17,039	16,454	15,375	13,878
原油換算kl	5,872	4,096	4,346	4,204	3,322	2,278

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

実績工数[万時間]

実績工数	63.48	54.51	59.4	59.19	62.06	48.58
------	-------	-------	------	-------	-------	-------

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和6年度 (2024)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
エネルギー 起源CO ₂	268	10 96.3	168 37.1	155 42.0	152 43.4	124 53.7	3 98.9
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	93	4 95.7	75.14 18.8	73.16 20.9	71.03 23.2	53.53 42.1	46.89 49.3
実績に対する 自己評価	(上表に同じ)						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	設備更新による電気使用量削減	—	・ 天井照明LED化 ・ 機械、変圧器の待機電力の削減
2	電気使用量の削減	購入電力を48.5%削減 (2024年度実績の電力使用量 13,878千kWhのうち6,736千kWh がオフサイトPPA)	・ 太陽光発電オフサイトPPAの活用 ・ 2024年3月から活用開始
3	燃料使用量の削減	—	・ PM停電時の発電機の使用台数の削減 ・ 社有車のEV化 ・ 製品試験に使用するLPG炊きボイラの運用改善 など
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。